

④ 地域ブランドで魅力発信 <移住・定住への対応>

◆観光振興チャレンジサポート事業補助金 300万円

市民のみなさんによる観光振興に向けた自由かつ独創的なチャレンジを応援するため、1件あたり、上限100万円の公募型の補助金を新設し、オリジナリティあふれる取り組みを進めます。

◆オリンピック・パラリンピックを通じて本市をPR 300万円

ゴルフ競技(オリンピック)とブラインドサッカー競技(パラリンピック)の事前キャンプ地誘致活動、体験教室や講演会等の開催に取り組み、本市の魅力を発信します。

◆マリーゴールドの丘公園イルミネーション事業 300万円

イルミネーションで冬季の観光スポットとしても盛り上げ、1年を通して親しまれる公園づくりに取り組みます。



昨年のイルミネーションの様子

⑤ まちなか賑わい <まちなか整備への対応>

◆まちなか再生に対する思い切った支援制度を創設 5,000万円

立地適正化計画に定める本庄駅・児玉駅周辺居住誘導区域において、民間事業者による一定規模以上の開発事業に対する大胆な支援策として、上限2,000万円の補助制度を創設します。(まちなか再生宅地開発補助金)

◆本庄駅自由通路リニューアル工事に着手 2億3,784万円

本庄駅自由通路のリニューアル、インフォメーションセンターの移転整備、北口エレベーターの改修等を実施するとともに、新たな交流空間の活用検討をスタートします。

◆「空き店舗ゼロプロジェクト」の発足 351万円

空き店舗の現況調査やモデル地区の選定、創業希望者とのマッチング等を行い、商店街ビジョンの策定、空き店舗の利活用を促進します。



⑥ 安全・安心な美しい地域づくり <安全・安心への対応>

◆防災ハンドブックを用いた、市民の安全・安心の確保 887万円

災害時の被害を最小限に食い止めるために、普段から、市民のみなさん一人ひとりが自助、共助の意識を持ち、協力する態勢をつくるのが大切です。平成30年度は、「防災ハンドブック」を作成し、情報や意識の共有により、安全・安心なまちづくりを進めます。

◆道路照明灯のLED化を推進 1,000万円

市道における道路照明灯560基全灯のLED化交換工事を平成30年度からスタートします。

◆「本庄市水道事業水安全計画」策定 816万円

安全・安心な水道水を安定的に供給していくため、水源から給水栓に至るまでの統合的な水質管理を実現する、水安全計画を策定します。



⑦ 市役所バージョンアップ <行政改革への対応>

◆施設予約システム導入・更新 202万円

インターネットから体育施設や学校体育施設、文化施設の空き状況を確認、仮予約ができるなど、利便性の向上を図ります。

◆市議会資料のペーパーレス化 244万円

議会会議資料を電子データ化し、タブレット端末で配信することで、情報伝達を迅速にし、ペーパーレスにより環境にやさしいまちづくりを推進します。

◆行政サービスにおけるセキュリティ対策の向上 22万円

特定個人情報等の適正な管理、運用及びセキュリティ対策に関し、市職員全員を対象に研修を実施し、スキルアップを図ります。



平成30年度

7つの重点施策

① こどもスマイル <少子化への対応>

◆子育て世代包括支援センター事業の開始 739万円

【本庄版ネウボラ】の中核を担う「子育て世代包括支援センター事業」をスタート。妊娠期から子育て期まで切れ目のない、相談・支援体制を立ち上げ、安心した子育て環境を提供します。

※ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場」の意味です。

◆多様な働き方を支援し、子育てと仕事をともに充実 24万円

子育てを楽しみつつ、仕事もできる職場づくりに取り組む「多様な働き方実践企業」を応援し、さらにセミナーや交流会等を通じて女性の起業や在宅ワーク等を支援。「だれもがいきいき働ける環境づくり」を進めます。

◆乳幼児・妊娠期の歯科健診を拡充 1,184万円

乳幼児の個別歯科健診と妊婦向け歯科健診を新規に実施します。



② 次代を担う人づくり <人材育成への対応>

◆学力向上に向けた取組みの拡充 4,716万円

教員の指導力の向上を図るとともに、児童生徒の習熟度に応じたきめ細やかな指導の充実を図るため、次の取組みを実施します。

- ・ティーチング・アドバイザー(教員への授業改善支援)の設置
- ・専門家による、教員向けの学力向上に係る講演会や指導助言等の実施
- ・学習補助教員の増員、放課後等の学習支援活動回数の拡大ほか

◆学校運営協議会(コミュニティスクール)の拡大 109万円

地域と一体となって子どもたちを育み、「地域とともにある学校」に転換することを目的に設置する、「学校運営協議会(コミュニティスクール)」を2校から8校に拡大します。

◆生涯学習に地元高校生のパワーを活用 193万円

市民総合大学では、高校が多く立地する本市の特性を活かし、地元高校生を講師に迎えた子ども向け講座を開催します。



③ みんないきいき健康長寿 <高齢化等への対応>

◆高齢期の歯科検診を拡充 381万円

歯科検診の受診対象者を70歳から80歳に引き上げます。

◆障害者スポーツの推進 1,227万円

ブラインド(視覚障がい)サッカー設備や武道館などの施設の整備等を実施し、障害者スポーツの推進によるバリアフリー社会を目指します。

◆高齢化社会における公共交通のあり方について評価検証 1,188万円

高齢者等交通弱者の移動手段の確保、クルマ社会における公共交通のあり方等の課題に対応するため、「本庄市総合交通計画」策定から5年を機に、今後の公共交通に向けた計画の見直しに着手します。

